

第4回草津市総合計画特別委員会（R6.6.26）における
主な意見とその対応について

○は委員会での意見・対応
→は委員会後の意見・対応

	主な意見	対応
1. リーディング・プロジェクト（案）について		
1	（仮称）DX推進プロジェクトについて、「DXを推進するため、デジタル化を阻害している規制・制度の改革」とあるが、これは市で行うことができるのか。	○ 規制・制度の改革については、国が主に取組むことではあるが、一方で、市においても、例えば、市の手続きにおける押印の廃止などのように、取組むことができるものがあるため、このような記載にしている。
	（修正前） デジタル化を阻害している規制・制度の <u>改革</u> や、	→御意見を踏まえ、次のとおり修正します。 （修正後） デジタル化を阻害している規制・制度の <u>見直し</u> や、
2	「デジタル技術やデータの活用の可能性を検討します。」とあるが、DXを推進する上で、検討することは当然であり、活用することを前提とした記載にすべきだと思う。	○ 現在のデジタル技術の活用はもちろんだが、今後、新たに生まれてくるデジタル技術も含めて、費用対効果を踏まえながら、導入について検討する必要があるため、このような記載にしている。 また、DXの導入はあくまで手法であり、導入自体が目的ではないため、市民の利便性と快適性を求めて、デジタル技術やデータの活用の可能性を検討していくものと考えている。
	（修正前） デジタル技術やデータの活用 <u>の可能性</u> を検討します。	→御意見を踏まえ、次のとおり修正します。 （修正後） デジタル技術やデータの活用 <u>を図ります</u> 。
2. ウェルビーイングについて		
3. 地方創生について		
4. 第2期基本計画の構成について		